

< 数字でみる「高校生」と「岐大生」の学びの変化 > 2024年 ICT 調査結果より

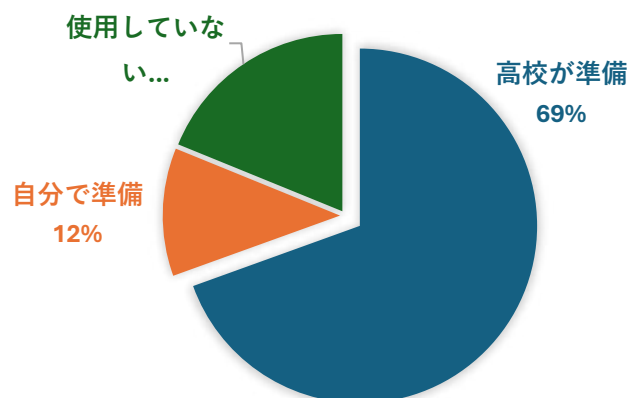
岐阜大学生協では、毎年4月末に、ICT調査という、岐大生のパソコンなど情報機器の活用度についてのアンケートをおこなっています。

ぜひ、先輩たちの情報機器にかかわる行動、意識、チャレンジ状況を、入学準備の参考にしてみてください。

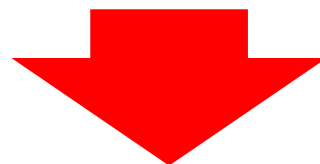
■ 入学前のPC利用状況から見る「パソコン購入のポイント」

1) 2024新入生の高校時代の体験の特徴 — 岐大生のPC利用との比較 —
足りない体験は、大学時代にチャレンジを

◆ 高校時代に授業で使用していたPC



※ 高校時代の自分専用
パソコン保有率は、
およそ 10%前後



新入生の自分専用PC購入時期
大学受験後～入学前 77.6%
大学1年 11.6%

◆ 2024新入生の高校時代の体験 と 大学生生活での利用実態

	高校の授業	岐大生の行動
PowerPoint	60.6%	66.2%
インターネット検索	56.7%	98.9%
Word	44.6%	61.5%
Excel	39.7%	71.3%
オンライン会議	31.3%	15.6%
プログラミング	14.8%	35.0%
画像処理	5.6%	アンケート結果なし
動画処理	5.6%	32.9%
電子メール	4.7%	26.7%
タイピング	アンケート結果なし	28.4%
レポート作成技術	アンケート結果なし	59.5%
プレゼンスキル	アンケート結果なし	58.3%
データサイエンス	アンケート結果なし	20.0%
クラウド活用	アンケート結果なし	15.6%

◆ 高校時代の授業では、

- ・「検索サイトを活用した調べ学習」
- ・発表のために「文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用」
- ・「一斉学習の場面での教材提示」がメイン
→ 高いスペックを要求しない使い方に限定されているので **GIGAスクール仕様のPC** でも大丈夫だった

◆ 岐大生のPC利用行動は

社会で活躍するために、パソコンスキルアップに広くチャレンジしている。

電子メールは、高校時代は 4.7%しか高校の授業では使っていない。大学生には日常的な連絡手段となる。タッチタイピングから始まり、チャレンジしている課題は多くある。

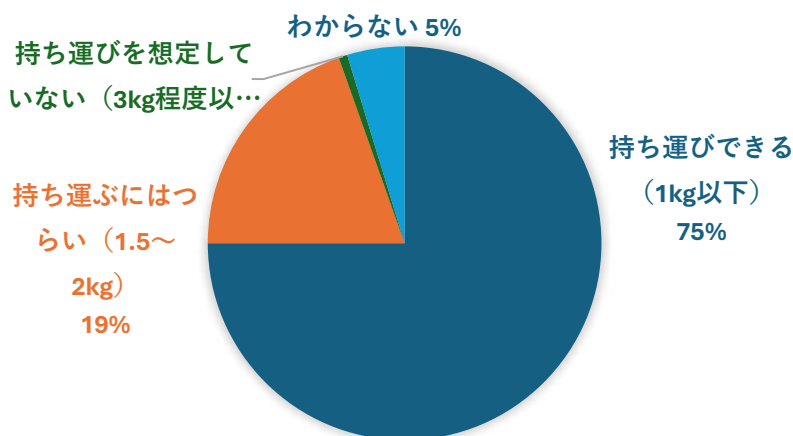
2) 大学入学時に約8割が自分専用PCを購入・その特徴

購入後、4年間買換えはしていない

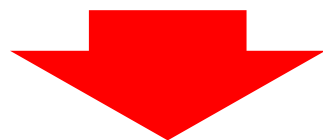
「卒業までの4年間使える」パソコンの選択がポイント

入学時に購入した自分専用機の特徴を、アンケート結果からみると、下記のような特徴が見えてくる。入学後、先輩たちもパソコンの買い替えをしていない。4年間使える内容になっているか、ポイントを確認ください。

◆ ノートパソコン・タブレットの重量

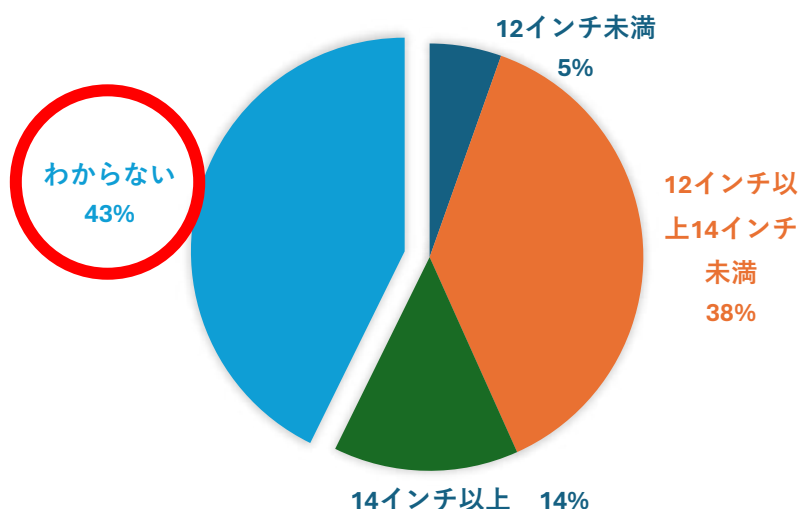


- 75% の学生が、1kg以下のノートパソコンを購入しているが、「持ち運ぶにはつらい (1.5~2kg)」を購入している学生も、19%ほどいる。



※ 学年が上がるにつれ、重くて持ち運びが困難と感じる学生が1年 13.0% から 4年 20.8% へアップしています。

◆ ノートパソコン・タブレットの画面サイズ



- 大学の推薦パソコンスペックにも画面サイズについては触れられていないためか、購入したパソコンの画面の大きさがわからない新入生は、42.7% もいる。



- 14インチ以上のノートを購入した人の多くは、1.5Kg から 2.5Kg程のパソコンを購入している。

- ◆ 高校までのパソコン経験を元に「このぐらいの性能があれば大丈夫」「画面の狭いタブレットで苦労したから、広い画面のパソコンがほしい」「4年間の本体保証がなくてもパソコンなんて壊れないよ」など 大学生の正確なパソコン使い方について情報不足のまま、購入判断している新入生が一定数いるという、結果になっている。

※ パソコン・タブレットの使い方が、高校時代 と比べ 大学4年間にどれだけ変わるのか、当然、学部、学科により、パソコン・タブレットの使い方は異なる。
ICT 調査結果 や 先輩の成功談、失敗談からのヒントを踏まえた、事例集めが必要。

3) 在校生が PC で後悔していること とは？

大学入学時にそのパソコンを購入したことを「後悔」しないポイントを次項のアンケート結果も参考にしてください。

◆ 先輩が 今使用しているパソコンで気になること（改善したいこと）TOP 2は

バッテリー駆動時間 16.1%

重くて持ち運びが困難 16.0%

※ 学年が上がるほど、バッテリー駆動時間が気にかかるなどの傾向にある。

持ち運んで利用する時間が長くなる（＝ 故障のリスクも高まる）

バッテリー自体が経年劣化が起きやすい

利用するアプリが増え、また 同時に利用することが多くなる

Windows の Update で基本動作環境が変化してきている などの理由がある

	バッテリー駆動時間	重くて持ち運びが困難	動作速度が遅い
全学	16.2%	16.0%	5.8%
1 年生	11.0%	13.0%	3.1%
2 年生	11.0%	17.2%	5.5%
3 年生	25.0%	17.5%	10.0%
4 年生	24.5%	20.8%	10.5%

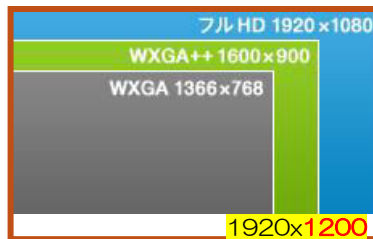
◆ 参考情報：画面の広さと重量のバランス に注目を

高校時代の GIGAスクールパソコン と 大学生が4年間快適に使えるパソコンの比較

GIGAスクール 仕様の PC

● 補助金上限 45,000円

- CPU：Celeron N4500
- ストレージ：64GB
- メモリ：4GB
- 画面11.6型 液晶タッチパネル
1366×768
- 無線対応
- 重さ 約1.5kg以下
- Windowsは 30.4%
Chrome OSが40.1%
iPadが29%



※ 画面街道殿ちがい

2024 岐阜大学の 推奨仕様の PC

● 卒業まで快適に利用できる 仕様

- CPU：intel i7(第13世代以上)
- ストレージ：SSD 256GB 以上
- メモリ：16GB以上
- 11インチ以上
解像度指定なし
- 8 時間以上
- HDMI 映像出力端子
- マイク・スピーカー
- カメラ
- Windows11

高校生の授業利用

- ・「 検索サイトを活用した調べ学習 」
- ・ 発表のために「 文章作成ソフト、
プレゼンソフトの利用 」
- ・「 一斉学習の場面での教材提示 」
がメイン
- ・ **1 画面全画面表示 利用**
- ・ 複数のソフトを同時に使うことは少ない
- ・ 授業時間以外での持ち歩きは少ない

大学生の利用実態

文章作成中に、複数のソフトを起動すると、**2 画面同時表示 が快適さ**
1、2年時のレポートは楽馬だけと
4年時卒論は **50枚から100枚**で提出

- 以上を踏まえると● 重量 1 kg以下
- 14.0インチ **1920x1080 以上**
 - メインメモリー：16GB がおすすめ

※ ブラウザソフトは、画面一つごとに ソフト1本分のメモリーを消費します。

■ 入学後のパソコン利用の学部・学科別利用の特徴

1) 新入生の入学直後の「パソコンスキル」状況

◆ 大学入学時点でパソコンの操作スキルに自信がありましたか？ の回答
約65%の新入生が不安をかかえて入学 学部学科の差も

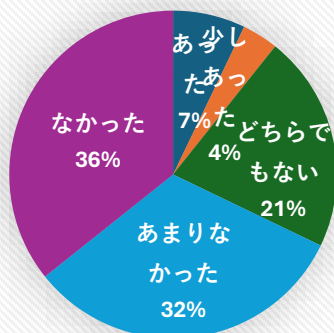
**約 65% の新入生は、パソコン
操作に不安を抱えて入学している。**

工学部でも、学科によって自身のない
学生の比率は、60%を超える。
応用生物科学部、看護学科は、80%台

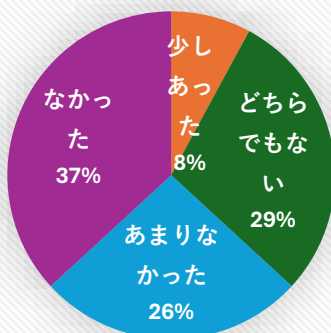
その一方

パソコンの大学での利用率は、高校時代と大きくかわります。次項目の ICT アンケート結果を参考にしてください。

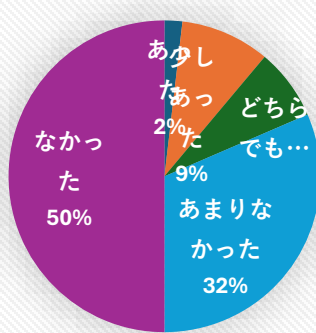
化学・生命工学



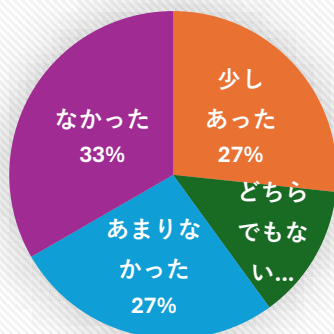
機械工学



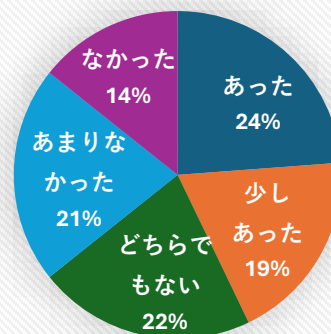
応用生物科学部



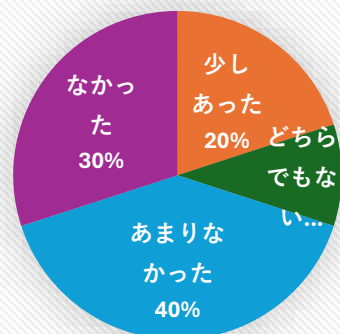
社会基盤工学



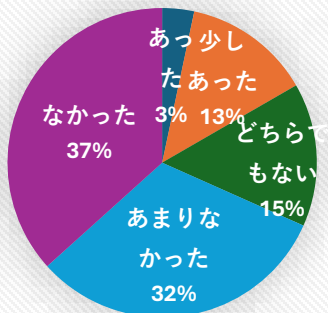
電気電子・情報



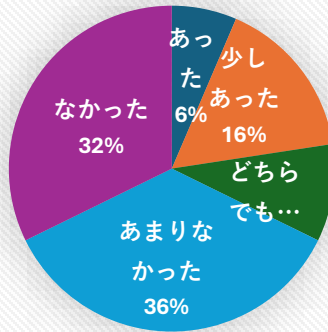
共同獣医学科



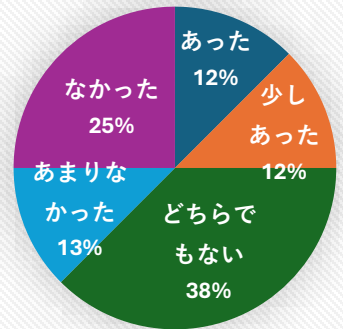
教育学部



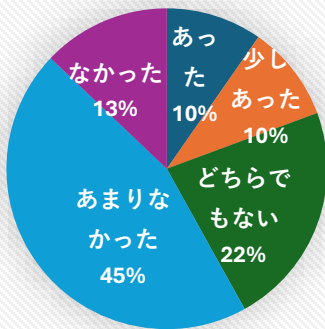
地域科学部



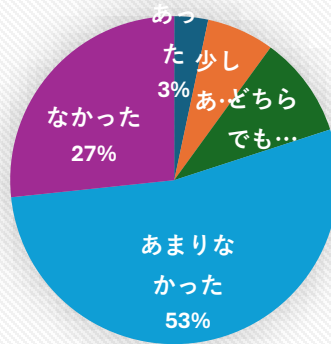
社会システム経営学環



医学科



看護学科



【 高校 と 大学の違い 】

- ◆ 高校時代は、利用する IT 機器のメインは、スマホとなっています。
- ◆ 大学では「スマホも」「パソコンも」使えるようになることが、社会に出る前の大学生のチャレンジ課題となっています。
タッチタイピングについても、高校までの経験からは予測がつかない場面で左のイラストのように必要となります。
- ◆ 1, 2 年時の多くのレポートは、1 ~ 2 枚のレポートですが、卒業研究、卒論は、50 ~ 100 枚となります。

- 日本人にとってタッチタイピングは大きな課題です。とはいえ、高校までの教育で正しく教えてもらう機会が少ないようです。
タッチタイピングは、正しい練習をすれば、2 週間ほどの練習で身に付きます。入学早期の練習がおすすめです。



インターネットでタイピング練習：イータイピングサイトより

2) 入学から卒業まで、授業でのパソコン利用度、自主学習での PC利用度 ①

● 基本情報：履修登録は、オンライン登録（紙じゃない！）

高校と大学の違いを採取に実感するのは、下記の事項

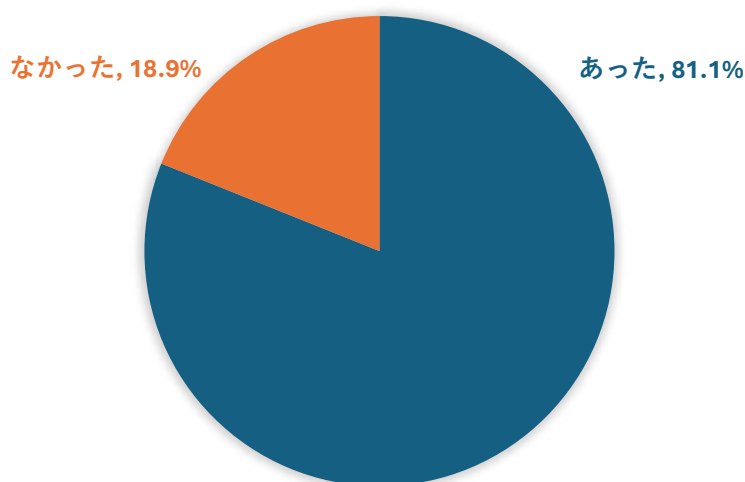
- 1) 大学には「クラス」はありません。クラス担当教員もいません
- 2) 授業の選択 = 履修登録作業は、個々人がオンライン登録でおこないます。
- 3) わからないことは、自分から担当部署なりに「自ら問いあわする」が原則
- 4) 申し込み期限を過ぎると手続きは原則受け付けられない。

→ 岐阜大学生協では、先輩による「履修相談会」を毎年4月に開催しています。

● 1年生の4月末にはレポート提出 体験は 81%！

- ◆ 授業やゼミでパソコン・タブレットを使用してレポートを作成する機会がありましたか？

**1年生の81.1%が
入学した4月末レポートを提出**



右アンケート結果に見るように、パソコンを自ら使う場面は、入学直後より、一気に多くなります。

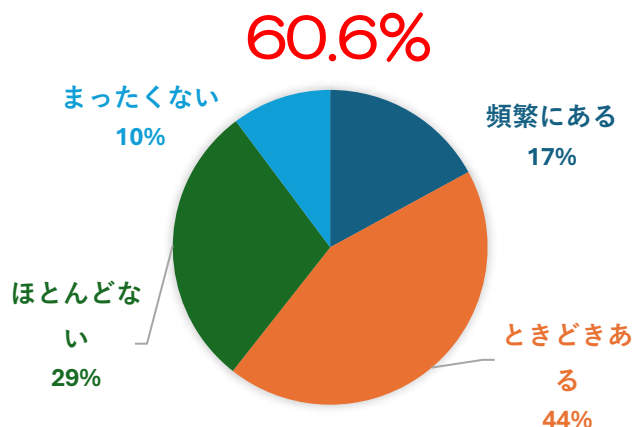
- ◆ 大学の先生は、高校までに教育で、PCスキルが一定程度あり、レポートぐらいは新入生でも作成できると判断しています。

→ 生協では、入学直後に「レポート作成」にも対応したパソコン講座を3コース用意しています。

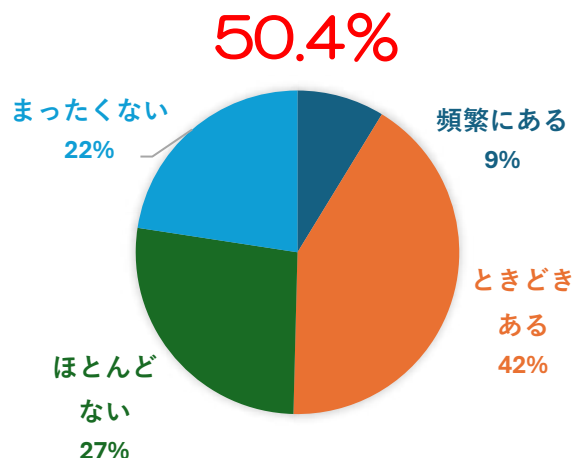
● 授業中に自分のパソコンを使用する頻度は？

大学の授業では、自分のパソコンを持ち込んで授業を受ける場面が多くなっています。下記のアンケート結果にみるように、対面授業中での利用場面だけでなく、対面ではないオンライン授業もコロナ禍以降、定着しています。

- ◆ 対面授業でデータ配布され、PCなど持ち込んだ授業



- ◆ 対面授業でPCなどでオンライン会議システムを利用した授業

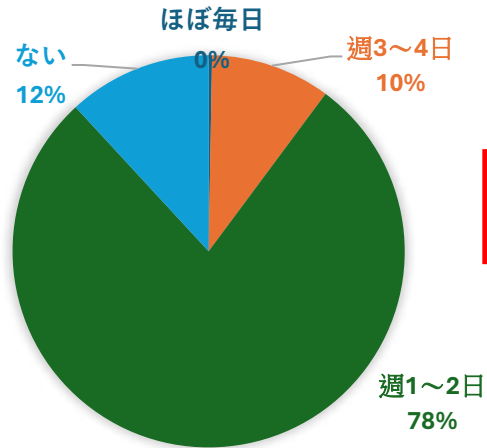


2) 入学から卒業まで、授業でのパソコン利用度、自主学習での PC利用度 ②

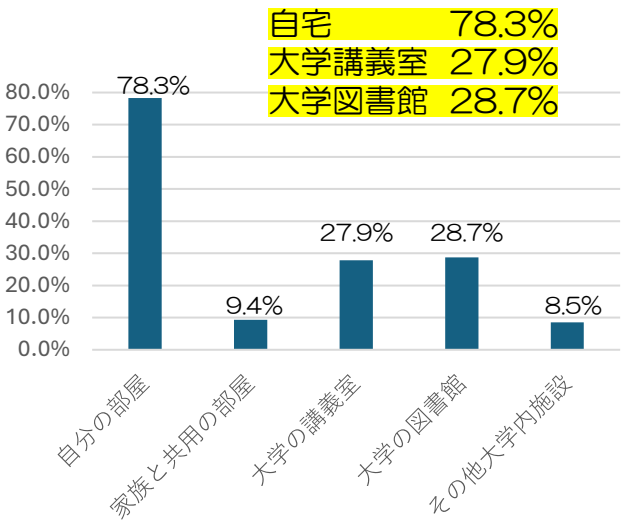
● コロナ禍後、定着したオンデマンド授業も定着しています

※ 大学生の授業は、連続して授業があることが少なく、1限目と3限目の間に授業がないことも多い。その時間を活用して、オンデマンド授業を受講している学生も多い。

◆ 1年生の オンデマンド（教材提供）授業は
ない 11.9 % 週1～2日 78.0%

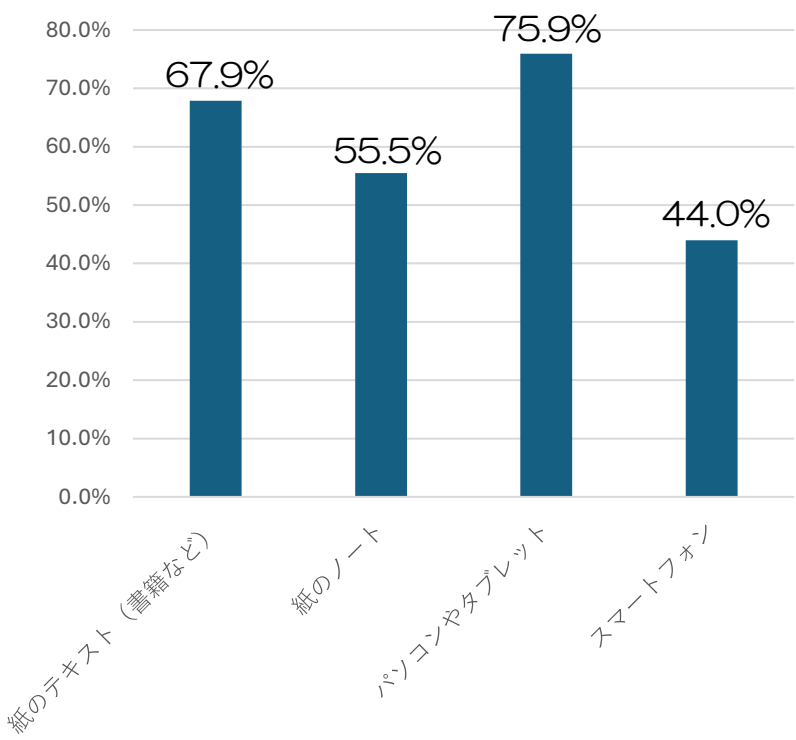


◆ オンデマンド授業を受講している場所



● 自主学習でもPC利用は高い

◆ 自主的な学習の際は主にどの媒体を使って勉強していますか？（複数回答可）



◆ 岐大生の授業外の自主学習時間は、週に
1 - 5時間 48.9%
6 - 10時間 33.1%
となっている。

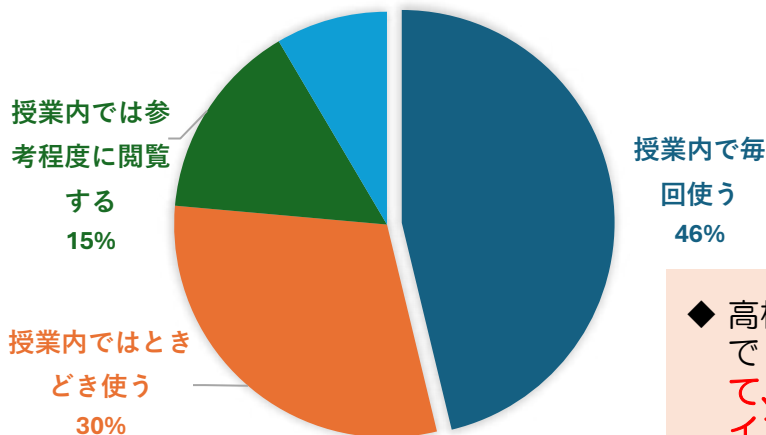
◆ その際に利用している媒体は、左グラフのとおり。
授業の予習、復習だけでなく資格取得、自主的な課題にパソコンやタブレットを高い比率 75.9% で大学生は活用している。

◆ 高校時代と異なり、大学生になると、パソコンを利用した自主学習率は、大きく伸びています。

教員の教科書の使い方、授業方法も大きく変化

◆ 授業で指定している市販の教科書はありますか

授業内ではほとんど使わず紹介程度 9%

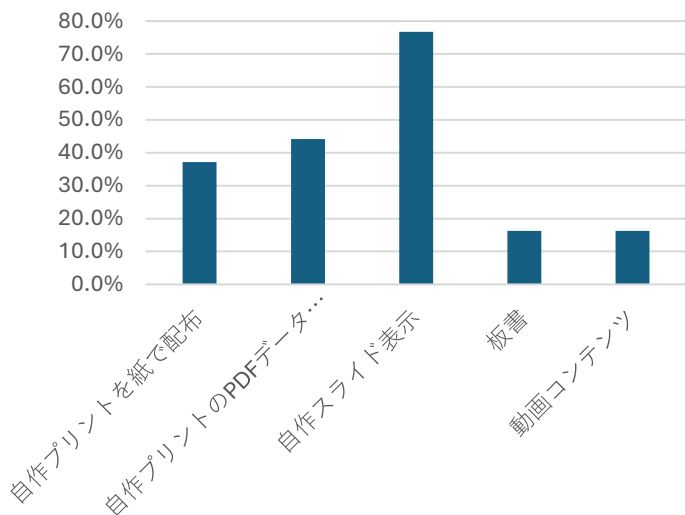
● 教員の教科書の授業内
毎回利用率は46%

高校の授業では、教科書に
そってほぼ授業が行われます。

大学では、左の円グラフに見
るように、大きく変わります。

教科書が指定されていても
授業内で毎回使うのは46%！

◆ 高校では、教科書の内容を教える授業
でしたが、**大学では、教科書を踏まえて、最新の研究状況を教えることがメ
イン**になっているからです。

◆ 「市販の教科書を使用していない」場合は、
何を使って授業を進行していますか● 教科書を使用しない授業では
スライド表示、自作プリント
が配布して授業を実施

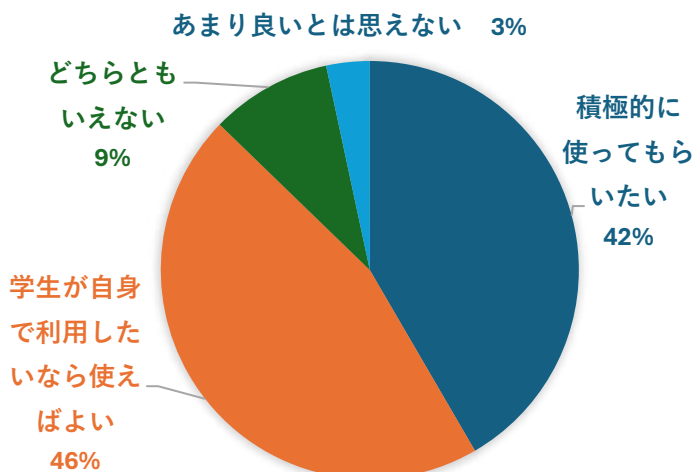
教科書を使用しない授業では、下記の
3つの方法が、教科書の代わりに授業
で併用して利用されています。

自作スライド表示 76.7%

自作プリントを紙で配布 37.2%

自作プリントをPDF配布 44.2%

◆ 大学の授業では、教科書以外にデジ
タル化された資料で利用されています。
**各授業の課題発表や成績評価も、紙ベ
ースではなく、オンラインとなります。**

◆ 対面授業で、学生がデバイスやデジタルコンテンツを持ち込んで
授業中に利用することについて、どのように思われますか● 大学の授業へのパソコンなどの
持ち込み利用は88%の先生が
許可して見えます

もちろん試験時には持込みはでき
ません。社会に出る前の様々なデジ
タル活用のチャレンジを、先生は応
援してくれているといえます。

◆ 高校までの体験に縛られず、IT機器を
活用した効率的な学習法を身に着ける
のは学生時代の大きな課題ですね。

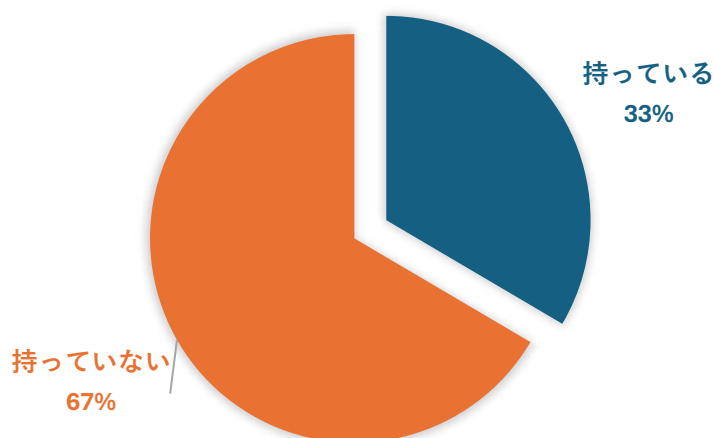
3) ノートPC + iPad 利用 の変化

● 年々高まる 2台持ち、医学科1年生は77.1%が保有

お使いのノートパソコン・タブレットの種類は何ですか？（複数回答可）

	Windowsノート	Windows2in1	MacBook	iPad	Chromebook	Androidタブレット	その他	わからない
（一昨年）自大学	79.6%	5.0%	11.3%	14.7%	0.3%	0.9%	1.9%	1.3%
（昨年）自大学	81.9%	4.9%	6.9%	25.1%	0.4%	1.8%	3.8%	1.8%
自大学	84.7%	3.1%	5.4%	26.5%	0.1%	3.1%	2.7%	2.0%

◆ あなたはノートパソコンとタブレット（iPadなど）の両方を持っていますか？



大学生の学びに、IT機器の活用が進んでいます。タブレット類の中でも iPad の保有率が大きく変化。

2022年 14.7%

2023年 25.1%

2024年 26.5%

■ 学部、学科別に特徴があります。

医学科 77.1%

共同獣医学科 41.9%

社会システム経営学環 35.7%

化学・生命工学科 34.5%

機械工学科 33.3%

それ以外の学部、学科 25 % 前後

◆ PC と iPad の使い分け方に学部、学科に大きな差はない

※ タブレットはノートや授業中の検索用
パソコンで資料を開き、iPadにノートを取る
タブレットは動画を見る際に使う

※ パソコンはレポートやパワーポイント作成時、
Excel での作表、集計、分析に使う
最終的なデータ管理はPC



画像: ノートアプリ Notability HPより引用

● iPadで授業のノートをとるメリット・デメリット

メリット

1. 全ての授業ノートを一括管理できる
2. ページ数、スペースを気にする必要がない
3. 文章の追加、変更、移動、ページの編集もできる
4. なれば、紙より効率的に書ける
アプリに図形描写の補助機能もある
5. PDFデータやネットで調べたものを貼り付けられる
6. スマホと同期して、いつでもどこでも復習できる
- 7 適切にフォルダーで管理すると4年間の学びを系統的に整理しておける

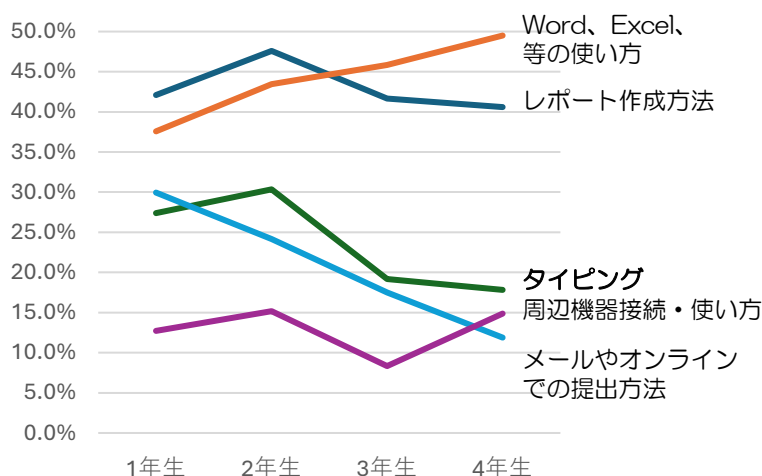
デメリット

1. 初期費用が高い
2. 目が疲れやすい
3. 持ち込み可のテストの時に持ち込みにくい（紙へ印刷が必要）
4. 充電し忘れると、ただの「板」！
5. 4年間の延長保証には費用が必要

- ◆ 大学生協では、iPad をアカデミック価格で提供しています。
- ◆ 最長4年間の分割払いも可能です。
- ◆ また新学期には4年間の本体保証も提供しています。

4) レポート作成で困ったことと対策

	742	354
行ラベル	総計	1年生
レポート作成方法	41.9%	42.1%
Word、Excel、PowerPoint等の使い方	41.2%	37.6%
タイピング	25.2%	27.4%
メールやオンラインでの提出方法	23.7%	29.9%
プリンタやスキャナ等の周辺機器接続方	12.5%	12.7%
その他	1.5%	1.4%
特にない	19.7%	16.1%
(空白)	11.5%	18.9%
総計	1972	946
	657	287



- 「レポートで困ったこと」の学部、学科、学年別の特徴
Office 操作への不安は、看護学科、応用生物学部、地域科学部は、1年次に高い。
工学部、教育学部の1年生は、自信がある人が多い。
その一方、上級生になって自信を無くす傾向がある。

- Office アプリの使い方に困る比率は、学年が上がるに上がる傾向にある。

上級生になって、文字だけのレポートではすまなくなる場面が多くなることが背景に。

実験結果、データ分析、解析結果の図形作成、地域調査結果の分析、レポート作成、プレゼン資料づくり、教育実習時の授業計画表、教材作成、病院実習レポート、症例報告、看護計画づくりなど

- メールの操作、タイピングへの不安は、学年が上がるにつけて下がる傾向がある。とはいえ、**タイピングは4年生でも17.8%が不安を持っている。**社会人になる前に克服しておきたい項目といえます。

先輩たちの IT スキルアップ方法は？

◆ 入学してからパソコンや IT スキルをどうやって学びましたか？（複数回答可）

行ラベル	総計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ネットで調べた	52.6%	44.4%	49.0%	66.7%	62.4%	75.0%	88.9%
友人や家族から教わった	39.4%	41.8%	46.9%	29.2%	31.7%	50.0%	38.9%
生協のPC講座に参加した	17.9%	25.7%	15.9%	7.5%	6.9%		16.7%
大学のPCの授業を受講した	17.7%	16.1%	17.2%	22.5%	21.8%		
Youtube等の動画で学んだ	10.8%	11.9%	8.3%	10.0%	11.9%		11.1%
パソコンスクール等に通った	0.5%	0.8%	0.7%				
その他	7.3%	6.2%	8.3%	10.8%	6.9%		

岐大生が IT スキルに活用しているのは、上記のとおり。高校時代と違う点は、下記のとおり

- ネットで調べた → 上級生になると、各学部の専門性にあったサイトが利用されています。
例：薬のことなら、日経メディカル など
- 友人や家族から → 1, 2年次には多い。
- 生協の PC 講座 → 2022年 7.5% から 2024年 25.7% に大きく利用増
- 大学の授業で → 2022年 22.5% から 2024年 16.1% と少し減少気味

5) 自主学習の中身

自主的な学習時間でどのような学習をしていますか？（複数回答可）

	課題・レポート	授業の予習	授業の復習	語学学習	資格取得	その他
（一昨年）自大学	90.5%	29.0%	59.1%	14.0%	15.9%	8.5%
（昨年）自大学	83.9%	26.9%	56.1%	13.1%	17.1%	7.3%
自大学	84.8%	24.9%	51.9%	12.5%	16.8%	8.1%
全国	83.7%	38.7%	54.9%	13.7%	19.1%	6.9%

◆ 自主学習の内容は、下記のようになっている。

課題・レポート 84.8%
授業の復讐 51.9%
授業の予習 24.9%

資格取得	16.8%	授業関連以外
語学学習	12.5%	

● チャレンジしている「資格」とは？ 学部、学科によって異なる

◆ 資格取得には、教員、医師、看護師、獣医師の国家試験への自主学習も含まれている。
他にも、危険物取扱者、測量士、毒物劇物取扱責任者、廃棄物処理施設技術管理者、食生活アドバイザー、簿記、秘書検定などの資格に先輩たちはチャレンジしています。

● 大学生と語学学習 先輩たちはなにを学習しているの

◆ 工学部の 70%、応用生物学部の 60%は、岐阜大学の大学院へ進学

就職活動時、進学時に必要となる英語力の目安は TOEIC テストになっています。
岐阜大学の大学院入試では、英語は「TOEIC-IP スコア 730以上を100点として比較配点」。岐大生 新入生の TOEIC テストの平均点は約 420点です。1、2年生のうちに TOEIC スコア 600以上を取得することが、自主学習のポイントとなっています。

◆ 英語はスポーツ = 学び続ける「習慣」を1年次に身に付けておくことが大学生に必要。
卒業時のアンケートでは、「もっと英語力をつけておきたかった」の後悔が多い

◆ 社会人になる前に身に付けておきたいことは、「効率的な 自己学習力」。
英語学習の習慣化は、そのひとつとなります。

【 参考情報：岐阜大学生の卒業進路 2023年度 実績 】

小計	1285		71	142	153	179	173	29	120	232	74	112	
進路人数	院進学 者数		社会 基盤	機械	化学・ 生命	電気電 子・情 報	応生	共同 獣医	地域	教育	看護	医学	社会システム 経営学環
進学	522	40.6%	31	118	118	115	99	4	4	33			※ 卒業生は まだいない
企業	274	21.3%	23	15	29	48	51		63	45			
公務員	112	8.7%	17	1	4	2	12	8	48	20			
その他	46	3.6%		7	2	13	8		5	3	4	4	
教員	136			1		1	3			131	※ 56% 注1		
獣医	17							17	※ 59%				
看護	70		※ 注2 看護師 60 保健師 5 助産師 5								70	※ 96% 注2	
医師	108		※ 注1 小学校 71 中学校 38 高校 8 特別支援 10 その他 4									108	※ 96%
入学定員			60	130	150	170	160	30	100	220	80	110	30

6)先輩が「パソコンが使える大学生になるために」在学中に

チャレンジしていること

※ アンケート結果に見る学生の意識は、下記のとおり。

- Office スキル にかかわる取りくみは高い傾向にある。
1 年次は「レポート作成スキル 67.8%」「Word 75.1%」「PowerPoint 74.0%」と高い傾向がある。高校時代の体験の差をうめるために努力していることが背景にある。
学部・学科別、学年にみると、応用生物科学部、教育学部、地域科学部、看護学科 1 年生の Office スキルに対するチャレンジ度は、他の学部、学科にくらべ高い傾向にある。
- 医学科、共同獣医学科、機械工学科 1 年次においては、「OneNote 等のノートアプリ」へのチャレンジ度が 13.8% と高い。iPad の利用率が高い学科での特徴ともいえる。
- 工学部で下記の項目のチャレンジ率が高い下記の項目は、先行学科別にみると大きな差がある。

項目	工学部全体	機械工学科	電気電子・情報工学科
プログラミング	57.4%	63.6%	76.2%
動画の作成・編集	37.2%	37.9%	45.2%
AI などの生成AIの使用方法	30.6%	37.9%	40.5%
データサイエンス	29.8%	27.3%	44.0%

行ラベル	総計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
Excel	71.3%	73.4%	71.7%	70.0%	66.3%	75.0%	61.1%
PowerPoint	66.2%	74.0%	60.7%	55.0%	58.4%	75.0%	72.2%
Word	61.5%	75.1%	52.4%	48.3%	46.5%	50.0%	38.9%
レポート作成スキル	59.7%	67.8%	59.3%	51.7%	44.6%	75.0%	38.9%
プレゼンテーションスキル	58.5%	57.9%	55.2%	63.3%	59.4%	100.0%	50.0%
プログラミング	35.0%	34.7%	38.6%	36.7%	32.7%	25.0%	16.7%
動画の作成・編集	32.9%	32.5%	36.6%	33.3%	31.7%	25.0%	16.7%
AI（Chat GPTなどの生成AIの使用方法含む）	21.6%	20.3%	20.7%	24.2%	23.8%	25.0%	22.2%
データサイエンス	20.1%	23.2%	20.7%	18.3%	11.9%	25.0%	11.1%
OneDrive・DropBoxのようなクラウドアプリ	15.6%	17.8%	15.9%	13.3%	10.9%	25.0%	11.1%
OneNote等のノートアプリ	9.8%	13.8%	6.9%	5.0%	5.0%	25.0%	11.1%
MicrosoftLens	4.4%	6.2%	4.1%	2.5%	2.0%		
その他	2.8%	2.3%	3.4%	4.2%	3.0%		

【 社会が求める 大学教育におけるIT 教育 4つの課題 】

社会が「大学卒業生に期待する」スキルに対応して、岐阜大学でも下記の4つ教育が行われています。

文系、理系という区分なく、パソコンが使いこなせる人材が必要とされています。教育、医療、地方自治などの現場でも、業務のICT化がすすみ、それらを活用し効率よく業務をこなせる人材ほど、社会にでてから選択肢が多くなるのも事実です。

岐阜大学の環境を活用し、さまざまにチャレンジをしましょう。

コンピュータサイエンス
リテラシー

ハードウェアとソフトウェア両方の理論と使い方、実務に役立つスキル、Windows の初期設定、プリンターの接続ぐらい大卒ならできるように。

Office スキル

学生時代の課題を通じて、Officeスキルレベルのばらつきを埋め、Excel など実際のビジネスシーンでの活用法を取得しておくこと。

情報倫理・著作権・
個人情報への理解

理論だけでなく、実際のケーススタディや実例を使っての習得し、実務場面で活用できるようにする課題。

データサイエンス

大量のデータや生成AIを扱うスキルを、実践的なデータセットとツール利用で取得する課題。岐大でも全学部で必須科目となっています。

大学を卒業するまでに「どんな自分になっていきたいか」。短い4年間、大学の授業を出発点にどのように自分づくりをすすめるのか、リアルな到達目標は、はじめから見つかりにくい。興味のあることからひとつずつチャレンジできるチャンスを見失わないように、大学生活を楽しみましょう。